

# YOUNG BLOOD

つなぐ！つながる！「仲間の環」 明るい未来をきり拓こう！

発行責任者：JR連合 青年・女性委員会 議長 新倉 実

編集責任者：幹事 松下 雄太

## 第22回ユースラリー開催！！

JR連合青年・女性委員会は、5月27日から29日にかけて、北海道地方協議会の準備のもと、「第22回ユースラリー in 北海道」を開催しました。今年は「道～なまら広がる仲間の環～」をテーマとして、全国から100名を超える青年・女性組合員の仲間が北海道の地に集結し、地域・単組・系統の垣根を越えた仲間の環を広げることが出来ました。

1日目は、おたる自然の村においてグループでの絆を深めるために交流レクリエーションとBBQを行いました。グループ対抗でピンポン玉リレー、手作りカルタ大会、難読駅名パズルなど行い、初めて会う仲間ともしっかり絆を深めることができました。その後は、BBQを行い北海道の自然を感じながら、参加者全員との交流を深めました。



2日目は、各グループに分かれておたる自然の村をスタートし小樽・札幌市内を巡るウォークラリーを行いました。北海道の文化や味覚を活かしたチェックポイントを設け、街中を楽しみつつ、参加者の皆さんには仲間との協力の大切さを実感していただくことができました。無事にゴールした後は、札幌ガーデンパレスにて交流会を行い、各単組紹介やウォークラリーの結果発表などで大いに盛り上がりました！

3日目は、学習会として北海道地方協議会青年・女性委員会の三星議長より、JR北海道の経営状況や昨年公表された「単独では維持することが困難な線区」について説明があり、この先、労使と地域が三位一体となりこの苦境を乗り越えていかなければならないと課題提起がなされました。続いて、JR連合青年・女性委員会の播磨事務長より、JR北海道における労働組合の現状と、JR総連への革マル派浸透問題がもたらす影響について説明し、最後に参加者全員で「あるべき労働組合像・労使関係像」についてグループディスカッションを行いました。理想と現状のギャップ、今後の私たちが進むべき労働運動の方向性を考えるきっかけとなりました。今後もJR連合青年・女性委員会は、全国の仲間の環を広めていくことを根幹に、諸課題についても基本組織と連携し取り組んでいきます。



JR連合では「facebook」「twitter」「instagram」を開設しています！アクセスしてネ！

